

宝島の話



▲北海道直送のサケを使った石狩鍋を前に大きな声で「いただきます」

学校給食で浦河町と産物交流

～北海道の「石狩鍋」体験給食会～

1/29
河浦

河浦学校給食センターでは、北海道の浦河町で水揚げされたサケと、河浦産のきゅうりやポンカンを使った浦河と河浦の交流メニューを楽しむ「体験給食会」を、平成8年から各小学校持ち回りで行っていきます。浦河町とのつながりは明治4年、河浦町立原地区の10世帯46人が浦河町に入植したのが始まりで、平成8年6月に友好交流町提携を締結。同給食会は、新合小学校に地区振興会長らを招いて行われ、北海道直送のサケを使った石狩鍋を堪能しました。



▲演芸祭で自慢の踊りと歌を披露する出演者

やってみゅ～かい

～牛深地区作品展 & 演芸祭～

2/1～3
牛深

2月1日から3日までの3日間、牛深地区振興会主催のだれでも気軽に参加できる文化祭「やってみゅ～かい」が牛深総合センターで開催されました。作品展には書道や絵画、工芸品など約750点が展示され、25点が「やってみゅ～かい大賞」に選ばれました。2日の演芸祭では11組の出演者が歌や踊りを披露し、客席から花束が贈られるなど、大変盛り上がりました。また、チャリティー募金も行われ、集まったお金は市社会福祉協議会に贈られました。



▲こわ～い鬼の登場に逃げ回る園児たち

「鬼はそと」「福はうち」

～新合保育所で節分の豆まき～

2/1
河浦

新合保育所で2月1日、節分の豆まきが行われました。この豆まきは毎年、近くに住む山本栄蔵さんが「子どもたちがかぜをひかず、明るく元気で1年間過ごせるように」と鬼の格好をして、盛り上げてくれます（今年で8回目）。はじめは怖い鬼を見て、逃げ回ったり、泣いて先生の後ろに隠れていた子どもたちも、時間がたつと泣くのをこらえ「鬼はそと」と豆をまき始めました。子どもたちのその姿を見て、鬼はこっそり逃げていきました。



▲あとは頼んだぞー！

17チームが雨風を切って力走！

～天草町駅伝大会～

2/3
天草

2月3日、市青年団天草支部（水蜜裕樹支部長）が主催する恒例の「第28回天草町駅伝大会」が開催され、学生・一般の部に合計17チームが参加し、健脚を競いました。

コースは福連木～大江を縦断する8区間24km。選手たちは、雨の中寒さに震えながらも、懸命にたすきをつなぎ、沿道の声援に応えていました。

【成績結果】●学生の部…①天中野球部A②おーど坊主③天中野球部B ●一般の部…①西天草分署②高浜職員会③とうげ



▲園児とお年寄りの皆さんが笑顔で握手

子どもたちとお年寄りが交流を深める

～苓陽幼稚園児が老人ホームを慰問～

1/18
倉岳

苓陽幼稚園（鶴戸継啓園長）では1月18日、特別養護老人ホーム愛愛園を訪れ、お年寄りの方々と交流を深めました。この日は年長組8人が「裸の王様」の劇や、ハンドベルの演奏を披露。交流会も行われ、最後に「いつまでも元気で長生きしてください」とメッセージを送り、お年寄りの皆さん全員と握手を交わしました。

同幼稚園では、1月24日には栖本町の梅寿荘と上天草市の相生荘も訪問し、歌や踊りを披露しました。



▲コートでは白熱した試合が展開されました

寒さに負けず一球入魂！

～有明町冬季ミニバレー大会～

1/27
有明

1月27日、有明町ミニバレーボール協会主催の「第16回冬季ミニバレーボール大会」が有明体育館で開催されました。当日は20チーム、ミニバレーボール愛好者約120人が参加。5チームずつ4パートに分かれ、4試合の総当たり戦により、総合成績を競いました。

試合では、鋭いアタックやブロック、技ありのレシーブなどスピード感あふれるプレーが続出し、体育館いっぱいに参加者の元気な声が響いていました。



▲地元産の菜種油で揚げた「くじらカツ」をおいしそうに食べる児童ら

地元産の菜種油を使った学校給食

～菜の花プロジェクト～

1/28
本渡

1月24日から同30日まで、本渡地区の小・中学校と市立幼稚園の学校給食に、菜種油を使って調理されたメニューが登場しました。この菜種油は、市の「菜の花プロジェクト」を受けて宮地岳営農組合が生産したものです。28日のメニューは「くじらカツ」。本渡南小学校1年3組では、招待した霧田辰也・本渡南幼稚園長とおいしそうに食べていました。なお、調理後の廃食用油は、環境にやさしい軽油代替燃料に変換し、給食配送車などの燃料として使用します。